

親学講座

名和保育所

楽しみなクリスマス会

ふれあい会館



第3回「親学講座」は、11月に名和保育所で、保育所と教育委員会の共催で実施しました。

今回の講師は、子育てアドバイザー（米子市在住）の松本寿栄子先生。当日は園児のお母さん方を対象に「今が大切、子どものかかわり」親子のコミュニケーションをとおして」というテーマで「幼児期の子育ての重要性」についてお話をしていただきました。その中から一部を抜粋して紹介しますので、子育ての参考にしてください。



保育所では、さまざまな体験活動とおして子どもたちの豊かな心を育てています

心の発達と親子のコミュニケーションがうまくいっていると、簡単に生活習慣は身につきます

- * 子どもの話は最後まで聞き、自分で決めるチャンス
- * 大人の考えはていねいに伝える
- * 子どもと一緒に「しよう」「させる」をやめて「しよう」に
- * 基本的な生活習慣の確立（入学までに）
- * 規則正しく十分な睡眠をとる
- * 食事は家族そろって、手作りのものを朝からしっかりとろう
- * 排泄は、朝または夜に習慣づける
- * 挨拶がきちんとしてきて、いいことも困ったことも素直に言える子に
- * 自律ができれば自信につながる（自立できる）
- しつけの基本
- * 『ゆるやかに』『たゆみなく』『よるこびをもつて』が3原則。できたときには褒める
- * 社会的にはいけないことは、理屈でなく「だめ」ということを伝える

ふれあい会館では毎年、社会福祉協議会がおこなっている「いきいきふれあいサロン」のおじいさん、おばあさんといっしょにクリスマス会をしています。

12月に入ると、「あわてんぼうのサンタクロース クリスマス前にやってきた」そんな歌を口ずさみ、育児学級のクリスマス会に向けて、リースやクリスマスツリー、プレゼント作りに挑戦し、準備をしてきました。1つつづ保護者と助け合いながら作った作品に、子どもたちは大満足でした。

子どもたちが、さまざまな活動を通して、共通の目的を持って活動する喜びや満足感を保護者の方と一緒に感じながら、すてきなクリスマス会が迎えられるれば幸いです。

育児学級・すくすく広場では、季節感を味わいながら、この時期でしか味わえない経験を通して、子どもたちの心を温かく育てていきたいと思っています。

ふれあい会館は事業がない時でもい

つでも遊べます。保護者の出会いや子育ての輪を広げましょう！「たんぼぼ通信」で毎月お知らせしています。ぜひお出かけください。



今日はみんなでクリスマス会の準備。協力してクリスマスリースを作りました